

各関係機関団体の長 }
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和4年度病虫害発生予察特殊報第2号について

このことについて、下記のとおり発表したので送付します。

特殊報第2号

1 害虫名 和名：モモヒメヨコバイ
学名：*Singapora shinshana* (Matsumura)

2 発生作物 モモ

3 発生の経過と概要

令和4年7月に県東部地域のモモにおいて、葉が白くカスリ状となる被害が確認され(図1)、葉にヨコバイ類の成虫の寄生が確認された。また、周辺地域の無防除のウメ、ハナモモ等にも本虫が寄生していた。モモから採取した成虫の同定を門司植物防疫所に依頼した結果、モモヒメヨコバイ(*Singapora shinshana*(Matsumura))であることが確定された。

4 国内での発生状況

沖縄県での分布が確認されていたが、令和元年に和歌山県で確認されて以降、徳島県、埼玉県、京都府、大阪府、岡山県、群馬県、滋賀県、香川県、栃木県、山口県、東京都、兵庫県、広島県、愛知県、大分県、佐賀県の計18都府県で発生が確認されている。本種は、国内ではウメ、モモ、スモモ、アンズ、オウトウ、ハナウメ、ハナモモ等のバラ科果樹を加害することが報告されている。

5 発生生態と被害状況

(1) 形態

本種の成虫の体色は概ね黄緑色で体長は3.0~3.5mmである(図2)。若齢幼虫は薄い黄色で、終齢幼虫になるにつれ成虫と同じ黄緑色になる。複眼は黒色で、頭頂部に特徴的な黒点がある(図3)。

(2) 被害状況

成虫および幼虫が葉を吸汁加害し、吸汁痕が小さな点の形で脱色し、葉全体が吸汁されると白化する。激しく加害された葉は早期落葉する。なお、被害が見られる葉の裏側には幼虫の脱皮殻が付着していることが多い。

6 防除対策

(1) 薬剤防除

現在、本種に対して登録農薬はないため、耕種的防除を行う。

(2) 耕種的防除

本種の発生及び被害の早期発見に努める。被害が確認されたら速やかに寄生葉ごと除去し適切に処分する。



図1 モモの被害葉



図2 成虫

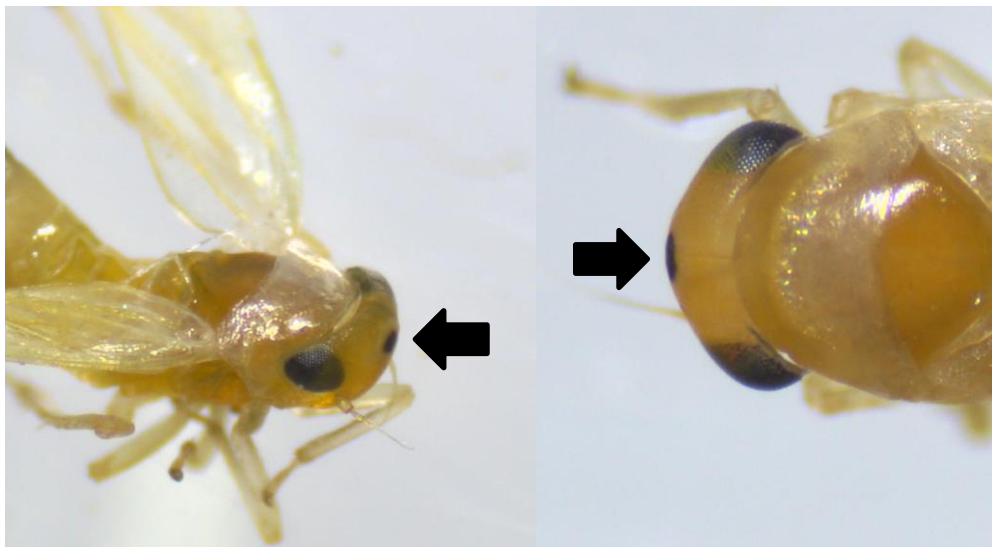


図3 成虫の頭頂部（矢印は特徴である黒点）

病害虫防除所のホームページでは、各種病害虫の発生状況を随時更新しています。
発生状況の把握や防除の参考にご活用下さい。

○福岡県病害虫防除所のホームページへのアクセス

URL: <https://www.jppn.ne.jp/fukuoka/> または右QRコード①



最新の病害虫発生状況

○Twitter（ツイッター）で定期情報や警報等発出のお知らせを始めました。

Twitterの本アカウント（福岡県農作物病害虫情報）へのアクセス

URL: https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka または右QRコード

